

鳥羽のお宝 再発見!



vol.44

教育委員会生涯学習課

☎ 25 1 2 6 8

九鬼家の実像がみえる!

九鬼家関係文書

鳥羽城主であった九鬼家については、寛永9(1632)年に起こった相続争いにより摂津国三田藩、丹波国綾部藩に転封となり、以後幕末まで続きましたが、家臣団もろとも移り住んだため、鳥羽市内には嘉隆やその子守隆の資料がほとんど残っていません。そのため、九鬼氏が鳥羽を治めていた時代の資料が少なく、鳥羽でどのような諸政を行っていたのかなどよく分かかっていないのが現状です。教育委員会では、散逸した郷土の貴重な資料を収集するため、今年度、守隆の書状を中心とした九鬼氏関係文書を



九鬼文書



守隆の花押(サイン)

古書店より購入しました。この資料は守隆が家臣に出した手紙を中心に、家臣間での手紙など11通が含まれており、中には御家騒動のきっかけともなった守隆の次男・貞隆が急死する原因となった病気にかかった時のことを記したと考えられる手紙や、九鬼

氏が材木輸送により利益を得ていたことを示すものも含まれており、当時の九鬼家の動向を知る上で重要な資料です。九鬼氏の資料はまだ各地に眠っており、研究の進展のためには、新たな資料の発掘が必要となります。資料調査の進展のため、情報をお持ちのかたはぜひとも教育委員会に提供していただきますとともに、今後とも資料収集と資料保存へのご理解とご協力をお願いいたします。この文書については、1月12日(土)〜27日(日)まで鳥羽1丁目の歴史文化ガイドセンター2階・郷土資料展示室にて公開します。ぜひ、ご来場ください。

みんなで子育て



子育て広場

だっこでほっと

「お正月のひとときを…」

vol.24

子育て支援センター

☎・FAX 25 7 2 2 1

新年あけましておめでとうございます。お正月といえば、こま回しや凧あげ、羽根つきにかかる取りなどが伝承遊びとして、頭に浮かびます。みなさんも、一度は経験したことがあるのではないのでしょうか。しかし、最近はテレビ、ゲーム、パソコンなどが子どもの遊びの中心となってしまう、地域や家庭でこれらの昔ながらの遊びを経験する機会が激減しているように思います。こういった遊びが中心になってしまうのも時代の流れなのかもしれませんが、昔から伝承されてきた遊びにも、素晴らしい魅力があります。コマ回しを一つとって考えてみましょう。紐を巻くには指先を使い、回す時には手首をうまくコントロールしないといけません。手先や体を使い、頭で考え、体のさまざま感覚を磨いています。また、勝ち負けを競ったり、工夫し合ったりしながら友達とうまく付き合う方法を身に付けていくでしょう。一生懸命遊んでいるうちに自然といろいろな力が身に付いてくるのです。このような遊びが少しずつ忘れ去られていくのは、残念に思います。親から子へ、祖父母から孫へ、ずっと昔から伝えられてきた遊びを、子どもたちにぜひ伝えてあげたいですね。子どもたちにとっても、それはとても意味のある素敵な時間になると思います。お正月には、ぜひ家族で昔ながらの伝承遊びを楽しんでみてください。家族みんなの心がホットになることでしょう。